

2019年6月3日

長瀬産業が米国の食品素材会社を買収——格付への影響は限定的

長瀬産業（証券コード：8012、発行体格付=A）は3日、食品素材を手掛ける米 Prinova Group, LLC の持分 93.6%を取得すると発表した。7月上旬の取引完了を目指す。純有利子負債込みの企業価値を6億2100万ドル（約680億円）と算定し、クロージング時に取得価額などを調整する。2012年の林原買収（約700億円）以来の大型案件となるが、2019年3月期末の自己資本は3000億円超と厚みがあることも踏まえ、格付への影響は限定的と判断している。

Prinova はビタミンやアミノ酸などの機能性食品素材、甘味料、香料のほか、これらを配合した製品の製造を含めて様々なソリューションを提供する。食品や飲料のグローバル大手を含め約3000社の顧客を抱える。米国を中心に欧州やメキシコに流通網を構築するほか、研究開発機能も充実している。2018年12月期の売上高は7億7750万ドル、営業利益は4190万ドル。この分野において一定の競争力があるとみている。

長瀬産業は国内トップの化学品専門商社。技術知識が必要とされる機能素材や加工材料などを自動車やエレクトロニクスをはじめ幅広い産業に供給する。注力するライフ&ヘルスケア領域では「トレハ」などの機能性糖質を主力とし、国内の食品・菓子業界を中心に安定した営業基盤を構築している。ただ、海外販売は計画対比で伸び悩んでおり、今回の Prinova 買収をテコにグローバル展開を強化する考えだ。

2019年3月期の経常利益は266億円と過去最高を計上した。化学産業の好調に加え、事業ポートフォリオの改善や製造業の損益分岐点の引き下げなどが奏功した。仮に買収資金を全て負債で調達した場合、ネットD/Eレシオ（自己資本に対する純有利子負債の倍率）は0.3倍台に上昇するが、資本負債構成は格付に見合う状態を維持できる見通しだ。買収後の統合プロセスやシナジー効果を見守っていく。

主任格付アナリスト：鈴木 俊行

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。